

インドの経済成長は目まぐるしく、数年後は人口ランキング世界第1位、GDPランキング世界第3位の国になることが予想されています。インドの成長性や、インドと日本の深い関係などについて、本号よりインドへの投資に役に立つ様々なトピックをご案内してまいります。

2022年は日印国交関係樹立70周年です。インドの今後の成長、投資を考える良い機会です。諸政策を追い風にインドは更なる成長を遂げようとしています。

## パワフル・インド（政策関連）～日本からの強力な支援でインドの成長を後押し～

岸田総理は、就任後初の二国間訪問先にインドを選定する等、インドを日本にとって大事なパートナーであると認識していることが分かります。日本とインドは、安全保障・経済協力のみならず、人的交流・文化交流を含む幅広い分野での協力が予想され、インドの更なる発展が期待されています。

### 最近の首脳往来

2014年 1月：安倍総理訪印	日印戦略的グローバル・パートナーシップの強化
2014年 9月：モディ首相訪日	日印特別戦略的グローバル・パートナーシップのための東京宣言発出
2015年12月：安倍総理訪印	日印新時代の幕開け
2016年11月：モディ首相訪日	「日印新時代」を大きく飛躍させる首脳会談
2017年 9月：安倍総理訪印	インド太平洋地域と世界の平和と繁栄を主導する決意を示す訪問
2018年10月：モディ首相訪日	特別かつ重層的な日印関係を象徴する訪日
2022年 3月：岸田総理訪印	日印特別戦略的グローバル・パートナーシップの強化

### 訪印時の岸田総理



### モディ首相



出典：首相官邸ホームページ  
([https://www.kantei.go.jp/jp/101\\_kishida/actions/202203/19india.html](https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202203/19india.html))

Photo by [Narendra Modi](#) licensed under [CC by 2.0](#)\*

### 最近の日印経済協力

- ▶ 近年、インドは日本最大の円借款受取国。高速鉄道、デリーメトロ(地下鉄)等を支援。
- ▶ 日本からインドへの投資を促進するため、日本工業団地の開発が進行中。
- ▶ 日本・米国・オーストラリア・インドの4カ国で安全保障や経済を協議する枠組み(Quad)を推進。Quadは英語で「4」を意味する。
- ▶ 2022年の訪印にて、今後5年間で、日本からインドに5兆円規模の投融資を表明。
- ▶ JBIC(国際協力銀行)などは、インドの新型コロナウイルス感染症対策に1億ドルを協調融資。

※<https://creativecommons.org/licenses/by/2.0/deed.ja>

## ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会